

# 元気になーれ!大きくなーれ!サツマイモ

5月20日

いいなっつ農園 熱気で!?気温30度の中、ママに抱っこされた赤ちゃんから長寿会さんまで、約190人でサツマイモの苗植えをしました。

三世代交流と農業体験をしてみよう、まちづくり協議会が始めて8回目。今年は紅はるか500本と紅あずま700本。竹で斜めに穴を開け南向きに丁寧に植える子、競争して植える子、それぞれ楽しんでいました。

翌日からは水やりと草取り、秋には収穫祭を体験します。



農園長から植え方の説明



オジちゃんと一緒に植えるんだ!



サツマイモの苗植え楽しみにしてたんだ!



南向きに植えるんだって!



稲子連のお姉さん



バケツの中にバツが入っているんだ!



お駄賃をどうぞ



お水をたっぷりやって...



ベテランの長寿会さん



長寿会さん農園の後は「サロン寄ってこ」に寄ってこ!

## 映画で泣いて 中学生と触れ合って笑顔 感動の映画会 5月27日

稲津の大きな事業の担い手の中学生ボランティア。今回のふれあい映画館は少数精鋭! 笑顔で約170名のお客様をお迎えしました。稲津の子も陶の子も、近所のおばちゃんから「あれー ○○君(ちゃん)頑張ってるね!」「大きくなって!ありがとね」など声をかけられて嬉しいけど、恥ずかしいやら、照れくさいやら…。でも和やかな会話がいっぱい聞こえてきました。

今回の映画は字幕入りにしたので、内容もよく分かり好評でした。



どうぞ 靴を入れてください



重いシートもお任せください!



3 アンケートをお願いします!



交安さんいつもありがとう



大人と一緒に打ち合せ



笑顔でありがとう



慣れた手つきで流石だね!



椅子は揃えて綺麗に並べます

### ～ 風船のトンネル ～



もうすぐ梅雨入りですね。じめじめ気分を吹き飛ばすロビー展示を開催中です。風船のトンネルをくぐったり、カラフルなボールで遊んだり、あじさい帽子をかぶってみたり。雨の日も楽しい気分になれますように!

### 朗読教室

短いお話を「声に出して読む」講座です。登場人物の気持ちになって、あるいは情景を思い浮かべながら、声で表現します。脳の活性化や、腹式呼吸をすることで健康にも効果があります。

◎期 日：①6/22・②7/13・③7/27・④8/10・⑤8/24  
⑥8/31・⑦9/14・⑧9/28・⑨10/12・⑩10/20  
木曜日(10回目のみ金曜日)

◎時 間：19時30分～21時

◎持ち物：筆記用具・飲み物

◎場 所：稲津公民館 研修室  
(10回目のみホール)

◎受講料：1,000円

◎定 員：15名

◎その他：動きやすい服装でお越しください。

◎申込み：稲津公民館 ☎68-3201

URL：[www.ii-nuts.jp](http://www.ii-nuts.jp) のイベントカレンダーからも申し込みいただけます。



## 6月の稲津さん

壮健クラブ稲津長寿会で  
長年ご尽力

渡辺 博昭さん

神戸(90歳)



長寿会の会長を長年務めてこられ、今は顧問となって活躍しておられます。65歳以上の男女半々約40人の会です。月に2回集まって、9時に体操、パターゴルフを楽しみ、その後寿楽荘にてお昼ご飯を頂きます。

「健康の為に体を動かして、おしゃべりして、皆一緒に楽しめるのがええよ。ここで親睦をはかるのが生きがい。皆にも喜んでもらって…」と話す渡辺さんに、仲間の方から「長寿会があるのは渡辺さんのおかげ。本当に温厚で立派な人だよ」と話していました。

## 夏休み恒例 お兄さんお姉さんとお勉強のお部屋

大学生ボランティア募集中

8月9日(水)・10日(木)の2日間開催します。小学生と一緒に遊んだり、宿題を見てくれる大学生を募集しています。

いろんな体験ができて楽しいですよ!気軽に手伝っていただけると嬉しいです。

◎連絡先：稲津公民館 ☎68-3201



人 口	4月1日現在		5月1日現在		増減
	男	人	2,211	人	
	女	2,291	人	2,294	3
	計	4,501	人	4,505	4
	世帯数	1,698	世帯	1,701	3

小 里	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	6月16日	6月27日
7月14日	7月25日	
萩 原	6月15日	6月26日
	7月13日	7月24日

一所懸命  
燦々と降り注ぐ日射し、日に増しに緑を濃くしていく青葉風にそよぐ早苗…。初夏はあらゆるものが躍動する季節です。そして、自然の中で生かされている自分を強く感じる時です。  
こんな季節の中で、5月17日に稲津小学校5年生の田植え体験、20日にはいいなっつ農園の苗植えが行われました。どちらも子どもたちの歓声が響き渡り、周りの田園風景の中に溶け込んでいきました。子どもたちは、「和を以て尊し」という瑞穂の国、私たち農耕民族のDNAをしっかりと受け継いでいるようです。  
しかしその陰には、八十八の手間がかかる米作りには羽広の中山修さんが、さつま芋は勝股農園長とボランティアの皆さんが精魂込めて準備から収穫まで見守っていることを忘れてはなりません。それぞれ一所懸命に…。  
一生懸命の語源となったこの言葉は、鎌倉時代の武士たちが將軍から預かった土地を命懸けで守り、暮らしを守ったことに由来しています。  
この献身的な思いが子どもたちに伝わり、実を結び、秋には豊作の飛切りの笑顔に出会えることを祈っております。  
(K)